

「物価高倒産」 上半期は 50 件発生、 年半期ベースで高水準を維持

2025 年上半期は「建設」「小売」が 24.0%で最多

東海 4 県・「物価高倒産」動向調査(2025 年上半期)



本件照会先

竹岸 隆浩(調査担当)
帝国データバンク
静岡支店
TEL:054-254-8301
info.shizuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2025/07/30

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

東海 4 県(愛知・岐阜・三重・静岡)で、燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」は、2025 年上半期(1 月～6 月)に 50 件発生し、前年同期(54 件)、前期(47 件)同様に高水準となった。業種別では、2025 年上半期は「建設」と「小売」が 24.0%で最も多くなった。

※株式会社帝国データバンク静岡支店は、東海 4 県(愛知・岐阜・三重・静岡)における燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「人手不足倒産」の発生状況について調査・分析を行った。

集計対象:負債 1000 万円以上・法的整理による倒産(2025 年 6 月末時点における判明ベース)

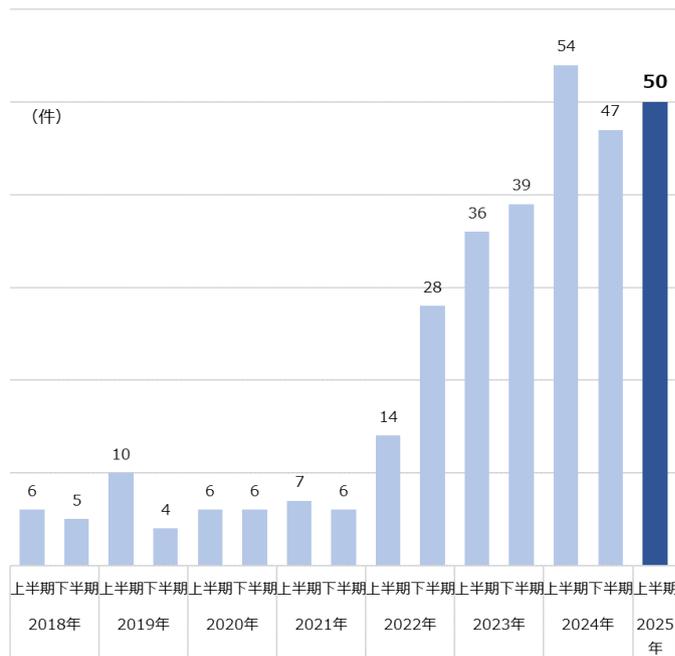
「物価高倒産」、2025 年上半期に 50 件発生

燃料や原材料などの仕入価格上昇により収益が維持できず倒産した「物価高倒産」（法的整理、負債1000万円以上）は、東海4県（愛知・岐阜・三重・静岡）で2025年上半期（1月～6月）に50件発生した。前年同期（54件）からは4件減少したが、前期（2024年度下半期、47件）からは3件増加し、年半期ベースでは高水準を維持した。

業種別では、統計開始以降の累計では「製造」「建設」「運輸・通信」「小売」の順で続いていたが、2025年上半期に限れば「建設」と「小売」が構成比24.0%で最多となった。「建設」では2024年問題に直面し人材不足もあるなかで資材高騰も重なって苦戦が続き、「小売」では「飲食店」や「飲食料点小売」が含まれ、食材費や光熱費の高騰が収益を圧迫し、「物価高倒産」増加の要因となっているとみられる。

「物価高倒産」の動向

「物価高倒産」の件数推移（年半期ごと）



「物価高倒産」の業種別構成比
（上段：累計 下段：2025年上半期）

